

参考積算条件書（その1）

（首都圏中央連絡自動車道
入間インターチェンジ橋耐震補強工事）

令和7年12月

東日本高速道路株式会社 関東支社

【注意事項】

- (1) 参考積算条件書は、入札（見積）参加者が見積作成する際の参考資料であり、契約書第1条に規定する設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- (2) 本資料に掲載の内容についての質問・問合せには一切応じられない。
- (3) 本資料に掲載の材料価格掲載予定項目について変更する場合がある。
- (4) 本資料の全部又は一部を閲覧者が複製、転載、電子媒体等へ入力し、また、それらを第三者に譲渡、販売、配布することを禁止する。
- (5) 本資料を基にした公表資料の二次的著作物の作成を禁止する。

1. 材料価格掲載予定項目

① 生コンクリート

| 名称 | 道路名 | I C 区間 | 単位 | 単価 (円) |
|------|-------------|-----------------|----|--------|
| A1-5 | 首都圏中央連絡自動車道 | 青梅 I C ~ 入間 I C | m3 | — |

※単価には、有料道路料金費は含まない。

② 落橋防止構造

| 名称 | 規格・仕様 | 単位 | 価格 (円) | 備考 |
|------------------------|--|----|--------|------------------|
| 落橋防止構造 C1-675 (375) | 設計地震力 675kN 設計遊間量 375mm 緩衝チェーン全長=2553mm(プラケット含まず) 大泉高架橋 A1 橋台(上下線) | 本 | — | 参考質量 153.7 kg |
| 落橋防止構造 C1-679 (485) | 設計地震力 679kN 設計遊間量 485mm 緩衝チェーン全長=2553mm(プラケット含まず) 大泉高架橋 P9 橋脚起点側(上下線) | 本 | — | 参考質量 153.7 kg |
| 落橋防止構造 C1-683 (469) | 設計地震力 683kN 設計遊間量 469mm 緩衝チェーン全長=2553mm(プラケット含まず) 大泉高架橋 P6 橋脚終点側(上下線) | 本 | — | 参考質量 153.7 kg |
| 落橋防止構造 C1-749 (545) | 設計地震力 749kN 設計遊間量 545mm 緩衝チェーン全長=2553mm(プラケット含まず) 大泉高架橋 P6 橋脚起点側(上下線) | 本 | — | 参考質量 153.7 kg |
| 落橋防止構造 C1-460 (400) | 設計地震力 460kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1660mm(プラケット含まず) 入間高架橋 A1 橋台(上り線) | 本 | — | 参考質量 69.3 kg |
| 落橋防止構造 C1-432 (400) | 設計地震力 432kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1660mm(プラケット含まず) 入間高架橋 A1 橋台(下り線) | 本 | — | 参考質量 69.3 kg |
| 落橋防止構造 C1-557 (400) | 設計地震力 557kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1834mm(プラケット含まず) 入間高架橋 A2 橋台(上下線) | 本 | — | 参考質量 96.2 kg |
| 落橋防止構造 C1-323 (400) | 設計地震力 323kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=2132mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P6 橋脚 (P5 側) (上下線) | 本 | — | 参考質量 55.4 kg |
| 落橋防止構造 C1-322 (400) | 設計地震力 322kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1832mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P6 橋脚 (P7 側) (上下線) | 本 | — | 参考質量 51.2 kg |
| 落橋防止構造 C1-525 (400) | 設計地震力 525kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1480mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P8 橋脚 (P7 側) (上下線) | 本 | — | 参考質量 74.8 kg |

| 名称 | 規格・仕様 | 単位 | 価格(円) | 備考 |
|-----------------------|--|----|-------|------------------|
| 落橋防止構造 C1-348(450) | 設計地震力 348kN 設計遊間量 450mm 緩衝チェーン全長=1832mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P8 橋脚 (P9 側)(上下線) | 本 | — | 参考質量 51.2 kg |
| 落橋防止構造 C1-488(400) | 設計地震力 488kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1660mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P10 橋脚 (P9 側) (上下線) | 本 | — | 参考質量 69.3 kg |
| 落橋防止構造 C1-274(400) | 設計地震力 274kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1566mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P10 橋脚 (P11 側) (上下線) | 本 | — | 参考質量 41.2 kg |
| 落橋防止構造 C1-317(500) | 設計地震力 317kN 設計遊間量 500mm 緩衝チェーン全長=1566mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P16 橋脚 (P15 側) (上下線) | 本 | — | 参考質量 41.2 kg |
| 落橋防止構造 C1-480(400) | 設計地震力 480kN 設計遊間量 400mm 緩衝チェーン全長=1660mm(プラケット含まず) 入間高架橋 P16 橋脚 (P17 側) (上下線) | 本 | — | 参考質量 69.3 kg |
| 落橋防止構造 C1-776(550) | 設計地震力 776kN 設計遊間量 550mm 緩衝チェーン全長=2103mm(プラケット含まず) 入間 IC G ランプ橋 P10 橋脚 (終点側) | 本 | — | 参考質量 139.4 kg |
| 落橋防止構造 C1-776(500) | 設計地震力 776kN 設計遊間量 500mm 緩衝チェーン全長=2348mm(プラケット含まず) 入間 IC H ランプ橋 P10 橋脚 (終点側) | 本 | — | 参考質量 190.8 kg |
| 落橋防止構造 C1-479(500) | 設計地震力 479kN 設計遊間量 500mm 緩衝チェーン全長=2340mm(プラケット含まず) 入間 IC H ランプ橋 PH3 橋脚 (起点側) | 本 | — | 参考質量 81.9 kg |
| 落橋防止構造 P2-507(600) | 設計地震力 507kN 設計遊間量 600mm 連結ケーブル全長=4506mm 入間高架橋 P3 橋脚 | 本 | — | |
| 落橋防止構造 P2-507(600) | 設計地震力 507kN 設計遊間量 600mm 連結ケーブル全長=4522mm 入間高架橋 P3 橋脚 | 本 | — | |
| 落橋防止構造 P2-507(600) | 設計地震力 507kN 設計遊間量 600mm 連結ケーブル全長=4521mm 入間高架橋 P3 橋脚 | 本 | — | |
| 落橋防止構造 P2-507(600) | 設計地震力 507kN 設計遊間量 600mm 連結ケーブル全長=4207mm 入間高架橋 P3 橋脚 | 本 | — | |

| 名称 | 規格・仕様 | 単位 | 価格（円） | 備考 |
|-----------------------|--|----|-------|----|
| 落橋防止構造 P2-507(600) | 設計地震力 507kN 設計遊間量 600mm 連結ケーブル全長=4221mm 入間高架橋 P3 橋脚 | 本 | — | |
| 落橋防止構造 P2-338(600) | 設計地震力 338kN 設計遊間量 600mm 連結ケーブル全長=4616mm 入間高架橋 P13 橋脚 | 本 | — | |

※単価には、有料道路料金費は含まない。

2.間接工事費補正区分

| 項目 | 内 容 | | |
|----------------|-----------------|---------------------|---|
| 適用工種 | 橋梁保全（修繕） | | |
| 共通仮設費 現場管理費 | 施工地域補正 | 補正あり【一般交通影響あり（1）】 | ○ |
| | | 補正あり【一般交通影響あり（2）】 | — |
| | | 補正あり【市街地（D I D 地区）】 | — |
| | | 補正なし | — |
| | 4週8休の補正 | 週単位 | ○ |
| | | 工期単位 | — |
| 現場環境改善費 | 市街地（D I D 地区） | | |
| | 市街地（D I D 地区）以外 | | |
| | 計上しない | | |
| 一般管理費等 | 契約保証補正 | 補正あり | ○ |
| | | 補正なし | — |

3.（最終）参考見積書

参考積算条件書（その1）では掲載対象外

4. 土木工事積算基準および単価の適用年月等

| 項目 | 内容 |
|--------------|--------|
| 土木工事積算基準適用年月 | 令和7年度版 |
| 単価ファイル適用年月 | 令和8年4月 |
| 物価資料等適用年月 | 令和8年5月 |
| 建設機械等損料表適用年度 | 令和7年度版 |